



SPECTRADRIVE

TonePrint対応/ハイクオリティベース用プリアンプ&ドライブ
/TubeDrive&COMP機能搭載

目次

重要- 安全のための注意事項.....	3
1.このマニュアルについて.....	4
2.はじめに.....	4
2.1セット内容.....	4
2.2 接続.....	4
3. TonePrint.....	4
3.1 TonePrintとは?.....	4
3.2 TonePrintアプリを使った TonePrintセッティングの転送.....	4
4.インプット／アウトプット／コントロール類.....	5
4.1 電源とコンピューターとの接続.....	5
4.2 スイッチ.....	5
4.3 エフェクト・コントロール.....	5
5.各種操作方法.....	6
5.1 接続順.....	6
5.2 信号の流れ.....	7
6.メンテナンス.....	7
6.1 ファームウェアアップデート.....	7
6.2 トーンプリントのリセット.....	7
7.リンク.....	7
8.仕様.....	8

重要- 安全のための注意事項

1. 注意事項をお読みください。
2. 注意事項の書類は手の届くところに保管しておいてください。
3. 全ての警告をお守りください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本機器は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除には、乾いた布のみを使用してください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。
8. 製造者の指示に従って設置してください。ラジエーター、暖房送風口、ストーブをはじめ、熱を発生する機器（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全性を確保するための構造です。無効にしないでください。有極プラグは、二本のブレードのうち、一方が幅広になっています。アース付きプラグは、二本のブレードと、一本のアース棒が付いています。幅広のブレードおよびアース棒は、使用者の安全を守るためのものです。製品に付属するプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードは、特に差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、人に踏まれたりはさまれたりしないように保護してください。
11. アクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、この装置用に販売されているもの、または製造者が指定するもののみを使用してください。カートを使用する場合は、機器を載せて移動する際に、機器の落下や怪我に注意してください。
13. 雷雨の発生中または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は、必ず資格を持ったサービス技師にご依頼ください。電源コードやプラグの損傷、機器に液体がかかったまたは異物が入り込んだ場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、機器を落とした場合など、機器が何らかの状態に損傷した場合には保守整備が必要です。

注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります

保守整備（サービス）

保守整備は、必ず資格のある作業担当者が実施してください。

警告

火災や感電のリスクを軽減するために、機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶等液体の入ったものを機器の上に置かないでください。閉じられた空間に設置しないでください。

EMC / EMI

Electromagnetic compatibility /
Electromagnetic interference

本機器はFCC規準Part 15に準ずるClass Bデジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じうる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本機器は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波干渉を起こさないという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本機器の電源を立ち下げてから再度立ち上げてください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で干渉の解消を試みることを推奨します。

- ▶ 受信アンテナの向き、設置場所を変更する
- ▶ 本機器と受信機の距離を遠ざける
- ▶ 本機器を受信機と別の系統の電源回路に接続する
- ▶ 販売代理店、または経験のある無線／TVの技師に相談する

For customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

本Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本書で使用する記号



三角形に括られた矢印付きの落雷マークは、接触すると感電の恐れがある、危険な高電圧の絶縁されていない部品が機器内部に配置されていることを示します。



三角形に括られた「!」サインは、機器を操作またはサービス作業を実施するうえで重要な指示が、製品に付属の書類に記載されていることを示します

1 このマニュアルについて

このマニュアルは、製品の機能と操作方法の情報が含まれます。重要な情報を見落とすことのないよう、マニュアルは全体を通してお読みください。

接続を完了する前に機器を操作しないでください。まず、「[2.3接続]」の項で説明しているように外部機器に接続してください。以降のセクションでは、「[2.3接続]」の項を理解しすべての接続が行われていると仮定しています。

本マニュアルはPDF形式でのみ配布されており、TCエレクトロニックのウェブサイトからダウンロードできます。各ページ本マニュアルの内容は、予告なく改訂されることがあります。マニュアルの最新版をダウンロードするには、TCエレクトロニックのウェブサイトをご参照ください。

tcelectronic.com/support/manuals

2 はじめに

SPECTRADRIVEは、ベースプレイヤー向けの究極のユーティリティペダルで、4BAND EQ、マルチ出力、デュアルトーンプリント機能を備えています。スタジオでベースをレコーディングする際に、ドライ/エフェクト信号を別々に録音したい場合や、ステージ上でPA卓とアンプに送られる信号を別々に分岐して演奏する場合、ヘッドホンで練習する場合など、このペダルは様々な用途に対応可能です。このペダルのコントロールには、TUBEDRIVEとSPECTRACOMPのTonePrintスロットがあり、お手持ちのスマートフォンやUSB接続されたコンピューターからさまざまなオーバードライブやコンプ設定を直接送信し、TonePrintコントロール専用のノブでエフェクトを調節できます。SPECTRADRIVEをギグバッグに入れば、どんな所でも思いのままに演奏できます。

2.1 セット内容

製品パッケージに次のアイテムが含まれていることをご確認ください。

- ▶ エフェクト・ペダル本体 x 1
- ▶ USBケーブル (Type A~Mini-B) x 1
- ▶ TCエレクトロニック・ステッカー x 1
- ▶ ゴム足 x 2
- ▶ 9Vパワーサプライ x 1

搬送時の破損がないことを確認します。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。製品の外箱と梱包材は保存しておいてください。万一搬送時に破損が生じた場合の証明として必要となることがあります。

2.3 接続

- ▶ ペダルに次の仕様の9Vパワーサプライを接続します。



- ▶ パワー・サプライをコンセントに接続します。

- ▶ 楽器からペダル右側のインプット・ジャックに楽器用¼"標準フォンケーブルを接続します。

- ▶ ペダル左側のアウトプット・ジャックから次のエフェクターまたはアンプに楽器用¼"標準フォンケーブルを接続します。

3 TonePrint

本製品は、TonePrintに対応しています。TonePrintについての詳細は、次のURLをご参照ください。
tcelectronic.com/toneprint/

3.1 TonePrintとは?

TCエレクトロニック TonePrint対応ペダルは多数の内部パラメーターで構成され、本体のノブは、内部パラメーターの設定を様々な割り当てや組み合わせで変更しています。TonePrintでは、エフェクトアルゴリズムの内部チューニングを変更したり、ノブの機能を「再定義」することができます。

シグネチャー・サウンド

通常のノブ操作で得られる音の変化は、TCエレクトロニックの開発者・ミュージシャン・製品スペシャリストたちが作り上げた、バランスと高品位サウンド重視の標準的なセッティングとなります。もし、世界中のトップ・プレイヤーにこの内部チューニングを一任したらどうなるでしょう。そして、自分でエフェクトそのものをチューニングできる自由を手に出たら...

TonePrintは、この夢のような機能を実現します。

Nathan East, Janek Gwizdala, Ida Nielsenのような世界的に有名なベースプレイヤーによって作られたTonePrintの数々は、ペダルに隠された無限とも言えるポテンシャルを掘り起こします。TCはこれらのTonePrintを一般公開しており、ユーザーは簡単に設定を製品本体にアップロードできます（「TonePrintアプリを使ったTonePrintセッティングの転送」セクション参照）。また、TonePrint Editorを使えば、ユーザー自らの手で自分のシグネチャー・エフェクトの作成が可能となります。

3.2 TonePrintアプリを使ったTonePrintセッティングの転送

TonePrintセッティングをペダルに転送するには、スマホ用TonePrintアプリを使用します。ペダルの設定変更には特殊な機材を別途用意する必要なく、TonePrintをペダルに「ビーム」転送できます。

スマートフォン用TonePrintアプリの入手方法

iPhone用

TonePrintアプリはApple社App Storeからダウンロードできます。

Android用

TonePrintアプリはGoogle Playからダウンロードできます。

アプリ以外の追加ダウンロードは必要なく、アプリ内課金はありません。アプリから、無償で全てのTonePrintに直接アクセスできます。

既述の通り、スマートフォン用TonePrintアプリは著名ギタリストやベーシストによるTonePrintの転送に使用します。TonePrint Editorは、そのコンセプトを一歩突き進め、ユーザー自らの手で自分のシグネチャー・エフェクトの作成を可能とします。

TonePrint Editorの入手方法

Windows/OS X版TonePrint EditorのダウンロードURLは次の通りです。

tcelectronic.com/toneprint-editor/

Apple iPad用

TonePrint Editorは、AppleのApp Storeからダウンロードできます。常に最新バージョンをご使用いただくことをお勧めいたします。

TonePrint Editorマニュアルの入手方法

TonePrint Editorマニュアルは次のURLからダウンロードできます。

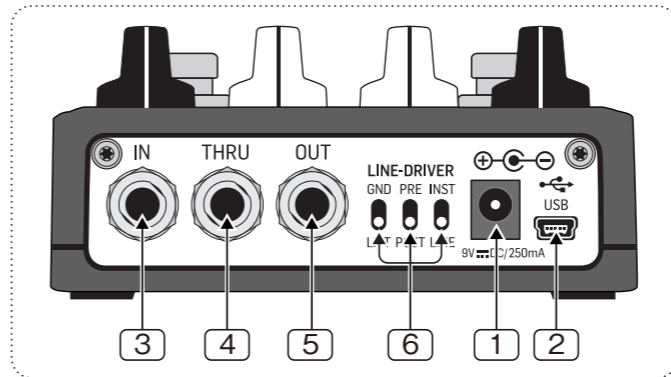
tcelectronic.com/toneprint-editor/support/

TonePrintセッティングの転送 - 操作手順

- ▶ スマートフォンのTonePrintアプリを起動します。
- ▶ TonePrintを選びます。
- ▶ アーティスト、または製品（ペダルの種類）別にブラウズできます。おすすめのTonePrintも表示されます。
- ▶ TonePrintペダルにギターまたはベースを接続します。
- ▶ TonePrintペダルをオンにします。
- ▶ 楽器を1ピックアップの設定にして、ボリュームを上げます。
- ▶ スマートフォンのスピーカーを使用ピックアップに向けて近づけ、「Beam to pedal」をタッチします。

ペダルのLEDが点滅し、TonePrintが正常にロードされたことを認識します。TUBEDRIVE TonePrintは左側のLEDに、SPECTRACOMP TonePrintは右側のLEDに連動しています。このペダルは、エディタソフトウェアによるカスタムTonePrintの作成をサポートしていませんのでご注意ください。しかし、TUBEDRIVEとSPECTRACOMPの両方に細心の注意を払って作られたTonePrintを豊富に用意しましたので、あなたの探しているサウンドがきっと見つかるはずです

4 インプット／アウトプット／コントロール類



4.1 電源とコンピューターとの接続

① 電源入力端子

ペダルの電源をオンにするには、本体のパワー・イン・ソケットにパワーサプライを接続します。電源のコネクターは、標準的なセンターマイナスの5.5/2.1 mm DCプラグです。100 mA以上の容量を供給できる9Vパワーサプライが別途必要です。TC Electronic PowerPlug 9の使用を推奨します。ハムノイズ対策の観点から、パワーサプライは出力がそれぞれアイソレートされているものをご使用ください。パワーサプライが手元がない場合は、本製品をバッテリーで駆動できます。電池交換の詳細については、「電池の交換」をご参照ください。

② USBポート

TonePrintセッティングを転送するためのMini-B USB端子です。TonePrint EditorからアーティストTonePrintを転送、または自作のTonePrintを転送できます。詳細は、「TonePrint」セクションをご参照ください。また、本機用のソフトウェア・アップデートがリリースされた場合は、アップデート作業にこのポートを使用します。詳細は、「ファームウェアのアップデート」セクションをご参照ください。

③ INジャック

ご使用の機器からINジャックに標準1/4インチTSケーブルを接続します。

④ THRU端子

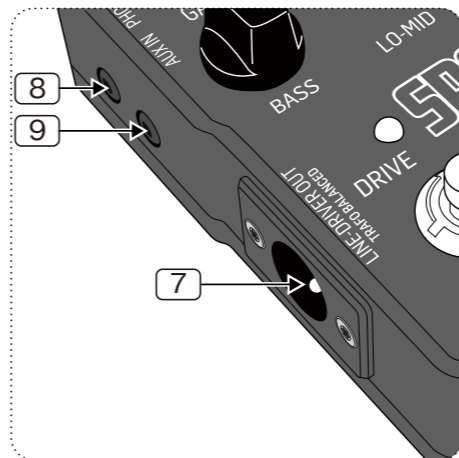
この出力は、エフェクトを介さない入力信号を直接再出力します。これはチューナーペダルに接続したり、アンプやミキサーに「ドライ」信号を送るのに便利です。

⑤ OUTジャック

標準的な1/4"TSケーブルをペダルからアンプに接続します。この信号は、ペダルをバイパスしていないときは常に、エフェクト効果を加えた信号を送ります。

⑥ ミニスイッチ

これらの3つのスイッチは、ラインドライバの出力にのみ影響します。GNDスイッチはグラウンド接続/リフト状態を選択します。PRE / POSTスイッチは、LINE-DRIVER出力がエフェクト後の信号 (POST) を伝送するか、または常にバイパスされた信号 (PRE) を伝送するかを決定します。INST/LINEスイッチではインストレベル出力 (-15 dB) またはラインレベル出力を選択します。



⑦ LINE-DRIVER OUT

XLRケーブルをこの出力からミキシングコンソールに接続します。

⑧ PHONES出力

1/8インチ (3.5 mm) TRSプラグタイプのステレオヘッドホンを接続します。LEVELノブで出力を調整します（ペダルがエフェクトON/バイパスされていない状態の場合）。この端子にヘッドホンを接続しても、他の出力はミュートされません。

⑨ AUX INジャック

スマートフォン、ラップトップまたはMP3プレーヤー等の音源を1/8"TRSケーブルでペダルに接続します。この入力にはレベルコントロールがありませんので、音楽プレーヤーの出力を調節して音のバランスを調整してください。信号が正しくミックスされるようにBASSノブを絞った状態から調整して下さい。

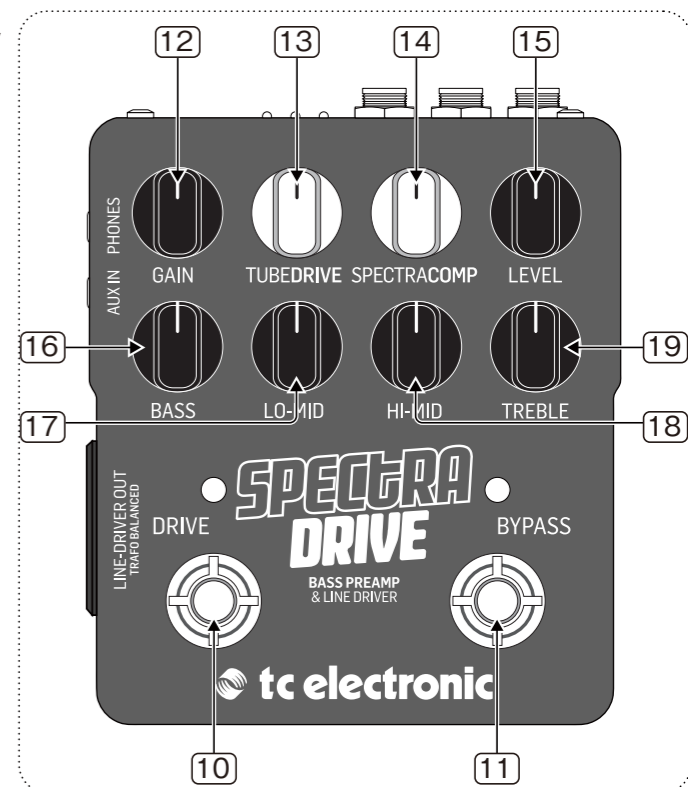
4.2 スイッチ

⑩ DRIVE FOOTSWITCH

このスイッチは、TUBEDRIVE回路のオン/オフ状態のみを制御します。TUBEDRIVEがアクティブなときに左のLEDが点灯しますが、ペダルのエフェクトがONの時にのみオーバードライブが鳴ります（右のLEDが点灯）。

⑪ バイパスフットスイッチ

このフットスイッチはSPECTRACOMPのオン/オフを切り替えます。エフェクトがONの時に、右側のLEDが点灯します。バイパスモード（右LED消灯）では、ドライ入力信号が出力に送られます。SPECTRADRIVEには、より長いケーブルを使用しても強く明確な信号を伝達するためのバッファード・バイパスが装備されています。



4.3 エフェクト・コントロール

⑫ GAINノブ

ドライブがONになっている時の入力レベルとTUBEDRIVEの量を設定します。

⑬ TUBEDRIVEノブ

TUBEDRIVEの出力ボリュームをGAINノブと連動して調節します。

⑭ SPECTRACOMPノブ

TonePrintからのコンプエフェクト量を調節します。

15 LEVELノブ

このノブでペダルの全体的な出力を調節します。ドライブとTUBEDRIVEのノブと組み合わせて使用すると、バイパス、アクティブ、オーバードライブのトーンバランスを取ることができます。ペダルをバイパスすると、Levelノブは効きません。

16 BASSノブ

50 Hzで最大-24 dBカット、または80 Hzで24 dBまでブーストします。センターの12時位置でフラットになっており、その位置では周波数には影響しません。

17 LO MIDノブ

200 Hzで最大-12 dBカット、または160 Hzで最大12 dBまでブーストします。センターの12時位置でフラットになっており、その位置では周波数には影響しません。

18 HI MIDノブ

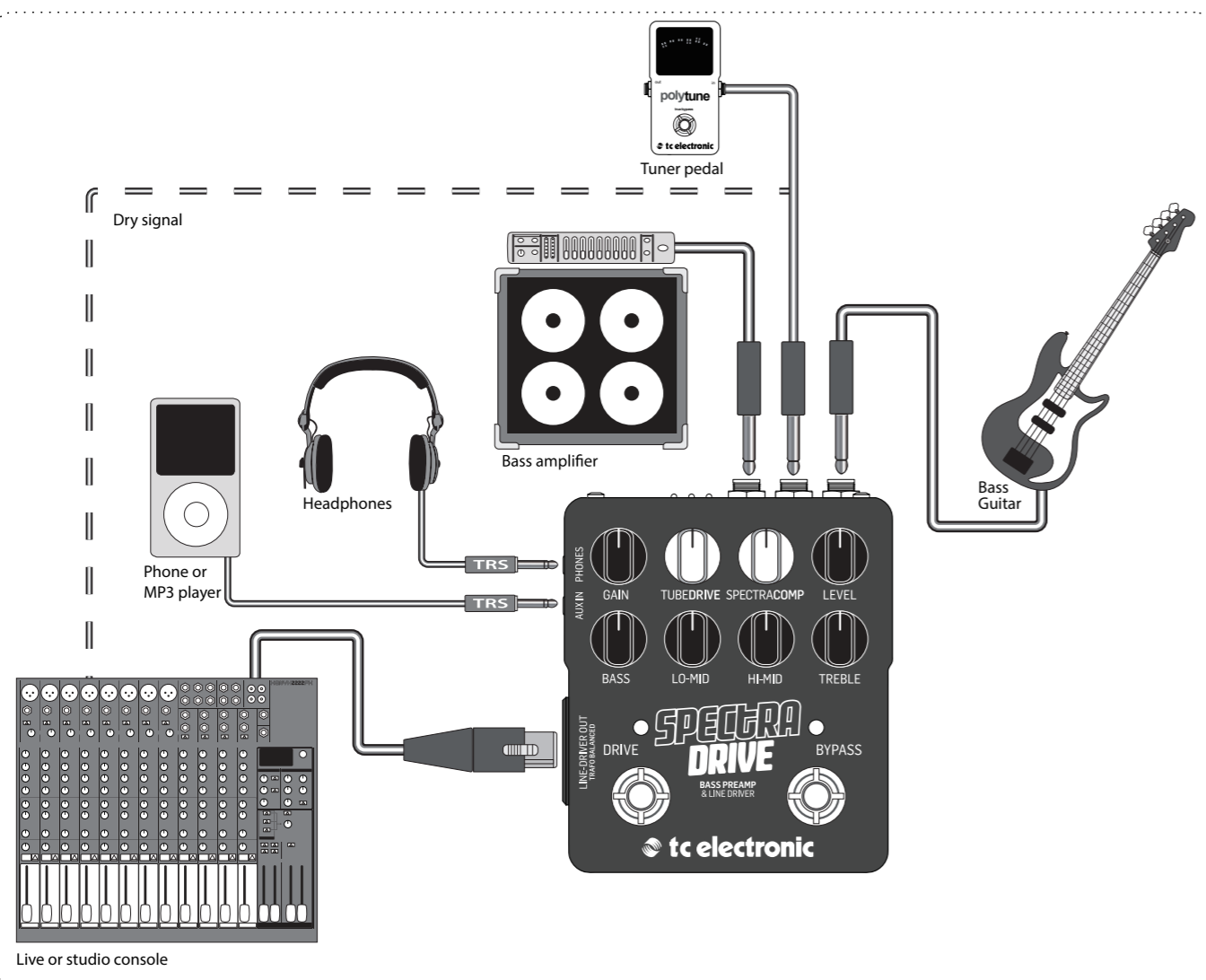
630 Hzで最大-18 dBカット、または800 Hzで最大18 dBまでブーストします。センターの12時位置でフラットになっており、その位置では周波数には影響しません。

19 TREBLEノブ

1800 Hzで最大-24 dBカット、または2800 Hzで最大24 dBをブーストします。センターの12時位置でフラットになっており、その位置では周波数には影響しません。

5 各種操作方法**5.1 接続順**

本製品は、状況に応じていくつかの接続順で使用できます。正しい使用法と間違った使用法などはありませんが、ここでは最も一般的な接続例を示します。THRUジャックは常にドライ信号を出力し、OUTジャックは常にオン/オフ切り替えに従います。LINE-DRIVER出力だけが（PRE/POSTスイッチを介して）どちらかを選択できます。コーラスやディレイのような他のエフェクトを組み込む場合、これらの信号はSPECTRADRIVEを通過した後には接続するのが理想です。ただし、複数の出力(THRU,OUT,LINE-DRIVER)を使用している場合、これらの追加エフェクトは信号の流れの内の1系統のみにしか接続できない事になってしまうので、状況に合わせて接続順を検討して下さい。

**5.2 信号の流れ**

入力から出力への信号の流れは、ノブの物理的配置には従いません。SPECTRACOMP TonePrintが最初に来て、続いてGAIN、TUBEDRIVE TonePrint、4バンドEQ、最後にLEVELコントロールが続きます。前述のように、THRUジャックはドライ信号のみを出力し、OUTジャックはフットスイッチのオン/オフ切り替えに追従し、LINE-DRIVERジャックはドライ/エフェクト出力を選択できます。AUX入力はPHONES出力とOUTジャックに直接ルーティングされますが、THRUまたはLINE-DRIVER出力には含まれません。AUX端子にオーディオを流しながら、大きなアンプに接続しているときは、このことを覚えておいてください。

6 メンテナンス**6.1 ファームウェアアップデート**

TCは、製品のファームウェア・アップデートを公開することがあります。TCペダル製品のファームウェアをアップデートするには、WindowsまたはOS Xを搭載したUSB対応パソコンと、ペダル用のDCパワーサプライが必要です。

ファームウェア・アップデートの準備

- ▶ ファームウェア・アップデート用のファイルは、TCウェブサイトの該当製品ページの「サポート」セクションからアクセスできます。
 - ▶ Windows版はzipアーカイブ形式で供給されます。
 - ▶ OS X版は、ファームウェア・インストーラーを含むディスクイメージファイル形式で供給されます。
- ▶ ペダルから、パワーサプライを含む全てのケーブルを外します。
- ▶ ペダルとコンピューターをUSB接続します。
- ▶ TCペダル製品の一番左のフットスイッチをホールド（長押し）します。フットスイッチを長押ししたまま、電源ケーブルを接続します。
- ▶ ペダルのペダルの一番左側のLEDが緑に点灯するはずですが、これは、ペダルがソフトウェア・アップデートを受け付ける準備ができていることを示します。
- ▶ フットスイッチを離します。
- ▶ これで、TCペダルがアップデート可能な状態になります。

ファームウェア・アップデートの適用

- ▶ コンピューター側で、起動しているDAW等全てのMIDI関連アプリケーションを終了してから、ダウンロードしたペダルのファームウェア・アップデーターを起動します。
- ▶ STEP 1のヘッダの下に表示されるドロップダウン・リストから、アップデートするTCペダルを選択します。
- ▶ STEP 2の下に表示される「Update」ボタンが緑に表示されたら、クリックします。

ファームウェア・アップデートがTCペダルに転送されます。プログレスバーが100%に到達するのを待ちます。アップデート作業が完了したら、ペダルは自動的に再起動します。

6.2 トーンプリントのリセット

簡単な修理を行った場合に備えて、TonePrintの両方のスロットを工場出荷時の状態に戻すTonePrintリセット機能が含まれています。これはファームウェアには影響しません。また、TonePrintがファームウェアのアップグレードで変更された場合、それらは新しい「デフォルト」とみなされます。

- ▶ ペダルの電源を切った状態で、左のフットスイッチを押したまま、DC電源を挿入します。
- ▶ 5秒間待ってください。両方のLEDが点滅します。これによりTonePrintがリセットされます。

7 リンク**サポート**

- ▶ TC Electronicサポート
<https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/support>
- ▶ TC Electronic - 製品ソフトウェア
<https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/free-software>
- ▶ TC Electronic - 製品マニュアル
<https://www.tcelectronic.com/Categories/c/Tcelectronic/Downloads>
- ▶ TC Electronic - ユーザー・フォーラム
<http://forum.tcelectronic.com/>

TCエレクトロニック

- ▶ ウェブ
<https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/home>
- ▶ Facebook:
<https://www.facebook.com/tcelectronic>
- ▶ Google Plus:
<https://plus.google.com/+tcelectronic>
- ▶ Twitter:
<https://twitter.com/tcelectronic>
- ▶ YouTube:
<https://www.youtube.com/user/tcelectronic>

8 仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

バイパスモード	バッファード・バイパス
入力コネクタ	標準¼"ジャック-モノラル/TS x 1
入力インピーダンス	1 MΩ
AUX入力コネクタ	3.5mmミニステレオフォンジャック
出力/THRUコネクタ	標準¼"ジャック-モノラル/TS x 2
出力インピーダンス	<200Ω
DI 出力コネクタ	ローインピーダンス バランスドXLR
ヘッドフォンアウトコネクタ	3.5mmミニステレオフォンジャック
電源	標準9 V DC、センターマイナス、>250mA (付属)
USBポート	Mini USBコネクタ (カスタムTonePrintのエディット/アップロード、及びソフトウェア・アップデート用)
寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	54 x 113 x 135 mm (2.1 x 4.4 x 5.3")
重量	580g(1.28lbs)

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION COMPLIANCE INFORMATION



Responsible Party Name: **MUSIC Tribe Brands UK Ltd.**

Address: **Klark Industrial Park,
Walter Nash Road,
Kidderminster, Worcestershire,
DY11 7HJ United Kingdom**

Phone Number: **+44 1562 732290**

SPECTRADRIVE

complies with the FCC rules as mentioned in the following paragraph:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Important information:

Changes or modifications to the equipment not expressly approved by MUSIC Group can void the user's authority to use the equipment.

